

教養部会講師 西村 和泉

1. 研究活動

〔共著〕 『サミュエル・ベケット展 一ドアはわからないくらい に開いている』	2014. 5	早稲田大学坪内博士記念 演劇博物館	早稲田大学演劇博物館にて2014年4月から8月にかけて開催されたサミュエル・ベケット展に合わせて出版された図録。岡室美奈子編。「ベケットと共生―「きれはし」がつむぐ世界」(106-113頁)を執筆した。
〔学会発表〕 「À la recherche du Maternel absent dans <i>Molloy</i> de Beckett et <i>L'Étranger</i> de Camus」	2014. 1. 18	東北大学東京分室	東北大学ヤン・メヴェル准教授によるフランス語系サミュエル・ベケットセミナー(日本学術振興会)で「ベケットとフランス」という共通テーマに基づいて、サミュエル・ベケットの『モロイ』とアルベール・カミュの『異邦人』におけるマテルニテ(母の表象)の比較とその結果について発表を行った。
〔翻訳〕 ジャン＝ルイ・マンサール 作曲「歌とピアノのための 「4つのメロディー」より」 第二曲「夜が分かつ愛」	2014. 5. 8	名古屋芸術大学音楽学部	ジャン＝ルイ・マンサール氏作詞作曲の現代歌曲を日本語に翻訳し、本学で5月に開催されたエコール・ノルマル交流演奏会で演奏された。

2. 教育活動(教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目 フランス語Ⅰ、Ⅱ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
大学で初めてフランス語を学ぶ学生が、読む・聴く・話す・書く力をバランスよく伸ばせるよう、進め方に配慮した授業を行った。作文や小テストを通して、重要表現を繰り返し学ぶと共に、フランス人へのインタビュー映像を視聴したり、手紙文を書く練習を行うなどして、フランス文化を身近に感じられる授業を心がけた。	テキスト、自作のプリント、映像資料
授業科目 フランス語Ⅲ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
フランス語の文法を一通り終えた学生を対象に、様々なシチュエーションを想定して実践的に外国語を用いることを目的に授業を行った。重要なフレーズや単語については反復学習を行うと同時に、ネイティブの発音のスピードに慣れることで、会話と作文能力の両面を高める工夫をした。	テキスト、自作のプリント、映像資料

授業科目 異文化入門 (フランス)	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
自作のプリントを用いて、毎回異なるテーマ (フランス映画にみられる日本人、家族関係、文学、美術、身体性、アニメ、ポップカルチャー等) に焦点を当てて、日本とフランスの文化の共通点と相違点を浮き彫りにした。授業内レポートを通して、学生一人一人に「自己と他者との共生」について考察する機会を与えた。	自作のプリント、映像資料

3. 学会等および社会における主な活動

日本フランス語フランス文学会	1997. 4～現在	会員
日本サミュエル・ベケット研究会	1996. 4～現在	会員
日本比較文学会	1999. 4～現在	会員
日本フランス語教育学会	2006. 4～現在	会員
早稲田大学演劇博物館グローバル COE	2007. 4～2012. 3	研究協力者